

八戸理容美容専門学校 教育課程編成委員会 議事録

日時 : 令和 2年 8月31日 月曜日 15:00～

場所 : 八戸理容美容専門学校 会議室

出席者 : 川崎 勢 (企業団体委員) 理容組合八戸支部 副支部長  
寺下 晴美 (企業委員) 同窓会会長 理容ロイヤル代表  
晴山 安子 (企業委員) パーマハウスひとみ代表  
稲村 明美 (企業委員) 稲村 美容院代表  
伊藤 有信 (学校運営) 八戸理容美容専門学校 校長  
佐々木 哲子 (学校運営) 八戸理容美容専門学校 副校長  
佐々木 美帆 (学校運営) 八戸理容美容専門学校 教頭  
笹山 留美子 (学校運営) 八戸理容美容専門学校 副教頭  
高谷 真紀子 (学校運営) 八戸理容美容専門学校 教務主任

欠席者 : なし

議 事

1・学校長挨拶

:「教育課程編成会議とは、教務部等が提案する時間割、選択教科などの教育課程について、審議して頂く校長直轄の委員会のことです。委員の皆さんから、率直なご意見、ご助言をいただきたいと思っております。」

・出席者紹介

:「本日の出席者は、教育課程編成委員として外部から4名です。学校からは5名の9名です。川崎委員、寺下委員、晴山委員、そして清川委員の退任の申し出がありましたので、代わりに稲村委員をお願いし計4名の出席になります。」

「まず、最初に、川崎委員から各自自己紹介をお願いします。」

「学校からも、自己紹介をします。」

・配布資料の確認

:「配布資料は、3部ですので、ご確認をおねがい致します。教育方針、矜持、カリキュラムについてです。」

・委員長（議長）選出

:「今回は、初めてということもあり、委員長の伊藤校長が担当させていただきます。次回は、外部委員から選出、お願いしたいと思います。なお、今回の会議は、委員総数9名中、過半数以上の全員が出席ということで、成立しているということを報告させていただきます。」

「それでは、令和2年度第1回教育課程編成会議を開催いたします。」

・理事長挨拶

□ 報告事項

① 本年度の教育方針、教育目標、矜持について校長より報告があった。

**教育方針について**

本学生としての矜持と自覚をもち積極的にして、明朗闊達な校風をつくることに相互に協力すると

共に近代社会に貢献し得る理容師美容師としての人格と技術の習得に努める。

### 矜持（きょうじ）について

自分の能力を信じ、他に誇ることを、闊達（かつたつ）—— 度量が広く、小事にこだわらないこと

### 教育目標について

① 礼儀、作法の徹底をはかる。 ② 清潔、整頓の保持に努める。 ③親切、勇気 of 精神を養う。

### 5 S

- ①整理—必要なものと不要なものを区別して、不要なものを処分する。
- ②整頓—決められた物を決められた場所にきちんと置き、いつでも取り出せるようにする。
- ③清掃—身の回りや校舎をきれいに清掃して、いつでも使えるようにする。
- ④清潔—整理・整頓・清掃を維持し、きれいで衛生的な状態を保つ。
- ⑤躰—決められたルールや学則を守り、実行するよう習慣づける。

（ ②～⑨について高谷教務より ）

### ② 本年度 授業カリキュラムの工夫

- ・選択科目を受講していない学生に対しての総合技術、の時間を設定して、実技授業では理解、定着出来なかった学生に対しての時間割にしている。
- ・2年生に対しては、国家試験の試験科目の復習を兼ねて、昼間、夜間、通信課程の実技試験対策を30時間、筆記試験対策を70時間、カリキュラムの中に組み込んでいる。美容に関しては、メイク、ネイル、エステ、着付け、マツゲエクステンションにおいて理論プラス実技の時間も取り入れて、選択科目の教員担当することで、より深い指導に取り組んでいる。
- ・今年度のカウンセリングは、従来のヘアケア、スキンケアに重点を置くのではなく、接客・接遇・ビジネスマナーに重点を置いた内容となっている。理容師・美容師としさらに社会人として必要な挨拶に始まり、社会生活には欠くことの出来ないマナーについて学習し、卒業後サロンに立った時に生かしていけるような内容とした。

校長:理容・美容師で大切なことが2つあると思う。1つは技術、もうひとつは接客だと思う。接客について学生に身に着けさせるときに何が必要なのか今、最近のサロンの現場ではこんな感じとかご意見いただければ有難い。

### ② 授業時数の確保

- ・今回のコロナウィルスの影響で昼間、夜間において、昨年度の未授業時間数があったので、長期では3日、夜間では5日間短縮と、前期・後期の試験の午後の時間を授業時間に組み込むことで、前年度と同様の卒業に必要な時間数を確保した。
- ・各科目に対して、本校では法定時間2100時間よりも約100時間多く授業時間数を確保し、「わかる、できる」ことを目標にし、特に復習に力を入れて技術の定着を目指している。今年度は選択科目を1コース増やし、6コースとし、各科目の時間数も確保しながら追加した。
- ・夜間課程では、選択科目を追加するために、2年生は卒業までの各科目の法定時間の確保が出来なかったため、選択科目との組み合わせを行い、時間数を確保する事ができた。
- ・コロナウィルスの影響で、各選択科目の時間数が遅れてスタートしたため、2年生の国家試験対策の時間に選択授業が入り込むことが予想されるため、授業再開から前期（9月末）で選択科目時間数を

多く取り、2年生に負担が掛からないようにした。

校長：授業時数の確保ということで、1年間の法定時数が1050時間、2年間で2010時間その中で本校は約100時間程度増やして時数を設定している。100時間の多い分の時間はどのような形になっている。

高谷：実習、選択課目も含め、全教科座学、実技合わせて1割程度増やしている。

校長：選択課目も学生の興味関心がある課目（授業）なので、時間数を増やしている。

### ③ 選択課目（コース）の拡充

#### 《スタイリストコース》

TONI&GUYと提携して、本校教職員もアカデミーでの講習を受講して3年に1度の技術試験クリアをし認定講師のディプロマ取得している。学生の検定はBASICカットのワンレングス、グラデーションがあり、本校の認定講師が採点している。レイヤーカットについては本部から派遣された担当試験官によって検定が行われている。

認定講師は、1週間の講習を受講し認定講師資格を取得し、3年ごとに講習を受講し更新して技術の見直しスキルアップをしている。

#### 《フェースアートコース》

資生堂の教材を使用し、スキンケアから、ナチュラルメイク、顔の名称、プロポーション、骨格に合わせメイク、ステージメイクなどを指導している。学生たちの授業を高めるために、毎年、校内メイクコンテストを企画し、学生たちがテーマに合ったモデルを選びメイク、ヘアスタイル、衣装を自らアイデアを出して作品を作り、校内投票で上位者を選考し表彰している。

#### 《ネイルデザインコース》

日本ネイリスト協会のテキストを使用し、ネイルケア理論から始まり、ベーシックな内容と技術、プロとして知識を身に付けられるようにカリキュラムを作成している。JNA ジェルネイル技能検定初級受験を自校で開催、平成30年に本部認定校に登録して、ジェルネイル検定中級の受験も自校で開催できるようになりました。全国理容美容学生大会東北地区予選、全国大会と過去何度も出場している。

#### 《ヒーリングエステ》

東北地区理容美容学校連絡協議会、東北エステティックアカデミー協会のもと、カリキュラムを作成し、スキンケアを大切に技術指導している。任意で、日本エステティック協会のフェイシャルエステティシヤンの資格取得も可能である。

#### 《マリアージュ》

着物の着付けを基本から学び、留袖、訪問着、浴衣などを使う小物、名称を学び、自ら着るテクニックや人に着付けが出来るようになるまでを学ぶことができる。全日本婚礼美容家協会の、留袖着付けコンテストジュニア部門に出場し最優秀賞、金賞、銀賞を受賞している。

全学生対象に講師を招いて、花嫁化粧、婚礼着付けのデモンストレーションを行っている。

#### 《アイデザインコース》

授業では指導者が眼及びまつ毛の構造や病気、皮膚とアレルギーに関する知識、目元の技術であることを十分に理解させ「安全・安心を第一」とし、自覚や心構え、配慮を身につけさせている。

認定試験合格者は JLA まつ毛エクステンション専門家会のまつ毛エクステンション美容技術 3 級認定証を取得することができる。

校長：選択課目については本校の大事な部分で学生達の興味、関心を持ってやりたいことをやってもらおうもので、最近ではそれに特化してやりたいという学生も増えている。例えばネイルなどで仕事をしていくという学生がいる。何かこの辺のところで、ご意見などありましたら頂きたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

理事長：エステなどは終了するとディプロマ、修了書などが貰えるように、講師について本部認定講師でもカットでは TONI&GUY などのブランドを入れて質の向上をはかっている。

寺下：昔とは違って選択課目などで、今は成り立つ時代になっている。

理事長：卒業させるのに精一杯、国家試験を取るのに精一杯というのから、さらに実際サロンに行ったら即戦力とかになると評価を実際に頂いている。受け入れ先のサロンの先生からも言われている。

入社して夏試験をしたら出来るので、今までなら入社後 1 年してからの受ける試験も 1 年生で合格している。どのような指導をしているのかと聞かれる。

寺下：仕事でプロの世界で一人前として実践でやれるような、それまでのカリキュラムは素晴らしいと思う。

理事長：サロン等では色々実践的なことをやっている。選択課目も質が高く自慢出来るものである。

さらに高みを目指して皆さんにご指導してい頂ければと思う。

寺下：若い人を育てるにはほめて育てると、将来はこうなれるという夢を持たせることが大切世界を見るのも大切である。

#### ④ サロンワークの充実

・学生たちの実践的な技術を高めるために、サロン実習を行なっている。そのために 1 年次から接客マナー・シャンプー・カット・ブロー技術の取得に力を入れ、入学から 10 ヶ月後にはサロン実習で技術を提供できるように指導している。ところが、現在は今回のコロナウィルスにより実施出来ていない状況である。

理事長：学校関係者評価委員の会議で、とても良いことが話されていきました。今お店でも厳しく感染予防をしているお店もあります。アバウトなお店もある。一番厳しいお店に合わせて、サロンの営業をする。コロナウィルス対策の経験がサロンの入った時に役立つ。良い経験になるので是非 10 月からサロン実習を実施して欲しい。考えられる対策は全て実施してやるということも勉強になると思う。

寺下：今の若い人たちだけではなく我々の年代も新たな生活様式も感染症に対しても意識をもってやっていくと、自然と身についていくと思うので、若い人達にはそれが一番だと思う。

#### ⑤ 社会貢献活動への取組

・社会貢献の大切さを実感してもらうため、ボランティア活動として高齢者施設に 2 学年全員が対象として 3 月から 2 月までの 1 年間を通し、当番制にして 10 名前後で月 1 回訪問し、理容、美容ともカット技術の提供と高齢者の方々に対してコミュニケーションの取り方等を学習出来る取組みとしている。多くの施設利用者に喜ばれ、感謝されることでより一層の技術の学習を目指すことができる取組みですが、

今年度は、まだ実施されておりません。

学校：高齢者施設のボランティアは、年内は無理なのかなと思っていました。

こちらで決められる事でも無いので、お互いに協議の上実施していきたい。

#### ⑥ 学生アンケート調査より

校長：今年度から学生アンケート調査を通じて、昨年度から教員の評価もしていた。学生の今年度の評価を見ると1年生と2年生とでは差があるようなデータが出ている。例えば授業に対する姿勢を見ると2年生は少し物足りない、1年生の方が授業に対して真剣に向かっている学生が多いと感じている。どうしてそうなのかは理由は分からない。2年生たちがこれから国家試験もあるし、卒業に向けてラストスパートしなければならない時期にある。今現在求人関係を含めて関東方面の企業の方たちとズームを使って面談をしている。そういうことを含めて2年生がやる気を出して貰えるようにしていきたい。担任の先生も一生懸命やってくれている。学生達に寄り添って有難いと思っている。1年生達も頑張っているのも、学力を伸ばしながら進めていきたいというのが、学生アンケートからの結果である。

#### ⑦ 学校評価（教員による評価）

校長：今回の学校評価は来年度に向けて見直し評価項目などを変えたいと思う。先生達の評価は4が多くそこを引き継ぎながらやっていきたい。

生徒のアンケートがあつて、先生達のアンケートがあつて、保護者のアンケートが無いので、来年度これらを検討して来年度から実施していきたい。この教育課程編成委員会の中でも3つのアンケートを使いながらやっていこうと思っているので、もう少しお待ちください。

#### ⑨ ヘアショーから

・今年度のヘアショーのテーマは「～passion～パッション」で八戸プラザホテル（アーバンホール）にて開催されました。7月初めに2年生の希望者が技術者を努め1年生の中からモデルを選び、ヘアカット、アップスタイル、ボディーペイントをし、各パートで担当教員と学生と一緒にテーマに合わせ、衣装からメイク、ヘアと施した。アトラクションとして1年生と2年生と希望者でダンスチームを結成しステージを盛り上げてくれた。ゲストステージでは、本校卒業生を招き、プロの技術を披露してもらい、トークショーでは体験生と在校生に理、美容の素晴らしさ、美容の楽しさなど実体験を交えた話をして頂いた。

校長：ヘアショーには多くの方がプラザホテル（アーバン）に集まっていたけど今回は3密を防ぐということで、本来よりも広い会場を設け、椅子の距離なども気を付けながら開催した。理事長はじめ役員の方々にも来て頂き、皆さんの話ではとても良かったと言っただき、本当に感謝している。ひとり一人の学生たちの持ち味を発揮し学生達の表現する場としてダンスチームもヘアのステージも素晴らしかった。

理事長：ヘアショーの開催日は、営業日なので皆さんにご案内してもなかなか参加が難しい。報告はさせて頂いている。結果はここ数年では一番良かったなと思っている。出場した学生を指導して頂いた先生も頑張ってくれたと感謝している。案内は出して、教育課程編成委員の

先生方にも見て頂きたいと思う。

専務：今回、新型コロナの関係でご案内はしなかったが、来年度はよろしくお願ひしたい。

## ② 協議事項

### ① 接客に必要なマナー等の必要性和身に着け方

校長：学生達を見ていても、礼儀作法のところが考えさせられることがある。礼儀作法は教育目標の中にもあるので、もっとしっかりやっていく。理容師、美容師の大事なところは技術だけでなく接客という2つの大きな柱があると思っている。接客をどうするか、必要なマナーの必要性を感じている。皆さんの方から本校の学生について様々ご意見があれば、どうすれば身につけていけるのか。例えば、教職員で職員室の入り方でもしっかり身につけさせ、本校の学生はしっかりやってくれているという感想をもらおうと皆様の方から率直な意見を頂きたいと思う。

川崎：先ほども学生に会いましたが、挨拶は元気にしてくれました。とても感じが良かった。

理事長：最近、挨拶はしてくれている。校長の教育目標が浸透してきたのではないのでしょうか。また、厳しすぎても学校生活が窮屈になってしまうからそうならないようにしたい。

副校長：外部のお客さんにはしてくれるが、先生達にはしてくれない。

晴山：第一は親のしつけが大切なんです。学校に来て自然にそれが出ると思う。私たちは人を使ってそう思う。今の子供たちは上目線でものを言うので、挨拶もそうですよね。注意した方がいいと思う。年配のお客さんにも上目線でものを言う。自分が腰を低くしないといけないことを常に出来ないダメですね。後、ひとを見てあいさつをする子も居るのではないか。学生の中ではどうですか。それは父親や母親が指導しないと、学校に来てそのままやっちゃっていると思う。いくら学校で挨拶の躰をやると思ってもなかなか出来ない。小、中学校の先生達も親の躰が大事だと話している。

校長：学校の方たちからも聞いたことがあります。先生方には挨拶はしないけれど、先輩には挨拶はするらしい。

晴山：今の若い子たちは上目線です、経営者よりも頭も良いので、上から目線である。

学校：学生もそう同じ。出来ていないのに上からものを言う。

晴山：経営者だと、出来てからものを言いなさいとは言えないので。消毒も同じだと思う。

私たちの店はドアまで拭くし全部消毒する。学校はそこまでやってると大変だと思うし。

学校：学校でも消毒は学生が帰った後椅子、机全部消毒する。トイレ、ドアの取っ手、全てする。

晴山：週刊誌も消毒をする。どなたが持って来ているのか分からないので自分たちが出さないように、もし出ってしまったら2週間営業が出来なくなるので

学校：サロンをやるのにあたって学校では週刊誌は無くしようかと思うけど、週刊誌がないとお客様が学生をずっと作業しているのを見るので、見られているだけで恥ずかしくて鏡も見られないし、ずっと見られているのもどうかかと、一人1冊づつとか、回し読みはしないようにとか、サロンをやるとなると色々な事が出てくると思う。

寺下：マナーに関しては子供の個性があるので中学校でも挨拶運動期間は挨拶するがそれを過ぎるとまたも同じになるが、自ら目と目を合わせて挨拶、コミュニケーションを取る繰り返し

の対話になるので家庭でのコミュニケーションが取れるように。

稲村：挨拶が一番大切だと思う、自然に身につくというのは日々の積み重ねなので、気を付けていると自然に出来るようになると思う。誰かが言ってあげなければならない。

寺下：相手から挨拶されるのではなく、こちらから挨拶出来るように

理事長：最近学生は挨拶はしてくれている、半分以上は挨拶してくれる。これが6、7、8割と増えていけば八理美のスタンダードになっていく。

川崎：挨拶はやりすぎないように、自然に出来るようなのがいい。

## ② その他

校長：「68年目の八戸理美容ですが、皆さんがお仕事される中でご意見、ご要望はありませんか。卒業生から今学生は何人ぐらいいますかとよく言われます。」

学校：昔は1年制度でも美容科は3クラスあって、1クラス30人ぐらい理容科も30人ぐらい1年制だったけど130人ぐらいはいた。今は専門学校も増えてきているので。

校長：学生募集はコロナの関係で、学校訪問しても学校に入られなかったりするシアポを取っていかないと会ってもくれない。

後半の学生募集も一生懸命訪問しています。皆さんのお近くに希望者がおりましたらよろしくお願ひしたい。本校は時数もそうですが選択授業も充実しているし、本校の職員も一生懸命やってくれているので、信頼のおける学校だと思っている。

最後に、学校法人化について理事長からお願ひしたい。

理事長：今一般財団法人ですが、学校法人にするために申請をしている。学校法人になると学生募集で高校の見方も変わると思う。運営上では固定資産税の支払の免除、私学補助金なども増えることで運営上楽になる。書類提出は全て終わる。

校長：来年度職員の人事考課制度をやりたいと思っている。今計画中であるが働きやすくするために職員と話し合う機会を年2回程度設けてその中で1年間を通して先生方に達成したい目標を掲げ、目標の達成状況はどうなのか、ではどうすればいいのかを一緒に考えていきたい。達成したらそれが学生の為になるし学校の為になる。もちろん先生の成長にも繋がる。これをやっていきたい。

校長：「これで、第1回教育課程編成委員会議を終わります。ありがとうございました。

本日いただいた貴重なご意見をこれからの教育活動に活かしてまいります。

なお次回は1月19日火曜日の予定です」。